

『肝臓領域におけるシークエンスの違いが脂肪含有率に与える影響』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	肝疾患診断において脂肪沈着の検出は極めて重要であり、近年では診断する上でMR画像における肝内脂肪含有率の定量化の必要性が高まっています。そこで当院におけるMRI装置で、肝内脂肪含有率の測定可能な撮像シークエンス間の測定精度を比較し、シークエンスの違いが肝内脂肪含有率に与える影響を検証します。この研究が確立すれば、肝内脂肪含有率の測定精度向上につながり、患者の生活の質向上に貢献し、人類の健康及び福祉の発展に資します。
研究の方法	この研究は、通常行われるMRI検査の中で撮像した画像から信号値(脂肪含有率)を測定します。
対象者	2022年4月から2023年3月の間に、腹部領域の精査で当院に通院や入院をされた方
利用する試料/情報	情報等：脂肪含有率、性別、年齢
利用する試料/情報の取得方法	診療で撮像された画像からMRI装置上で肝内脂肪含有率を測定する
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 放射線部 大内 慈人 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	「当院単独研究」
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第70回日本放射線技術学会東京・関東合同研究発表大会で発表予定
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2023年10月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 放射線部/診療放射線技師/大内 慈人
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 放射線部/大内 慈人